

療養病床転換意向等アンケート調査結果

～ 施設票 ～

平成 20 年 8 月

東京都福祉保健局

【調査の概要】

調査時期 : 平成 20 年 4 月
調査対象施設 : 医療療養病床もしくは介護療養病床を有する 2 6 3 医療機関
回答施設数 : 2 3 6 医療機関
回答率 : 8 9 . 7 %

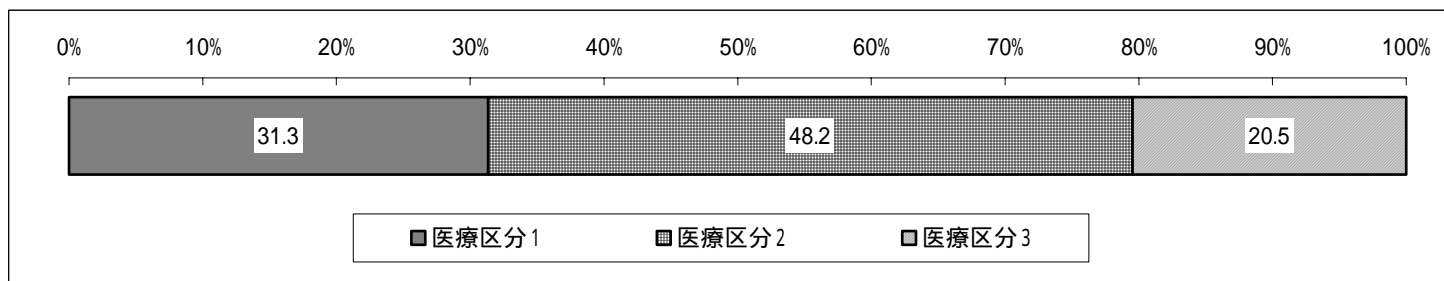
1. 病床数・入院患者数

今回集計の対象となった病床数は、医療療養病床が 11,044 床、介護療養病床が 7,350 床であった。また、入院患者数はそれぞれ 9,561 人、6,984 人であった。

	施設数	病床数	入院患者数	稼働率
医療療養病床	186	11,044	9,561	86.6%
介護保険移行準備病床	2	113	111	98.2%
介護療養病床	97	7,350	6,984	95.0%
経過型介護療養病床	0	0	0	0.0%
回復期リハビリテーション病床	19	1,309	1,111	84.9%

2. 医療区分(医療療養病床)

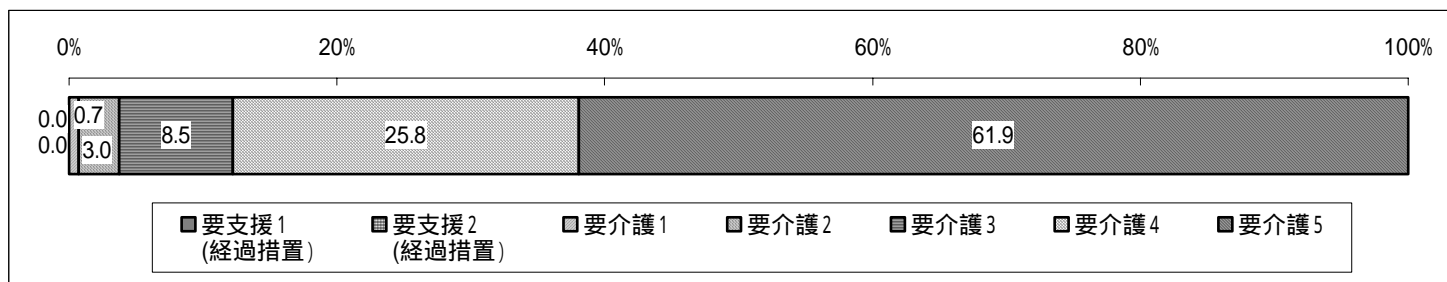
医療区分が判定されている 9,306 人について、医療区分の構成比をみると、医療区分 1 が 31.3%、医療区分 2 が 48.2%、医療区分 3 が 20.5% であった。また、医療区分と ADL 区分との組み合わせの分布をみると、医療区分 2・ADL 区分 3 が最も多かった(26.2%)。



		医療区分 1	医療区分 2	医療区分 3	総 計
件 数	医療区分別人数	2,917	4,483	1,906	9,306
	ADL 区分 1	752	585	108	1,445
	ADL 区分 2	1,056	1,459	269	2,784
	ADL 区分 3	1,109	2,439	1,529	5,077
構成比	医療区分別人数	31.3%	48.2%	20.5%	100.0%
	ADL 区分 1	52.0%	40.5%	7.5%	100.0%
	ADL 区分 2	37.9%	52.4%	9.7%	100.0%
	ADL 区分 3	21.8%	48.0%	30.1%	100.0%

3. 要介護状態等区分(介護療養病床)

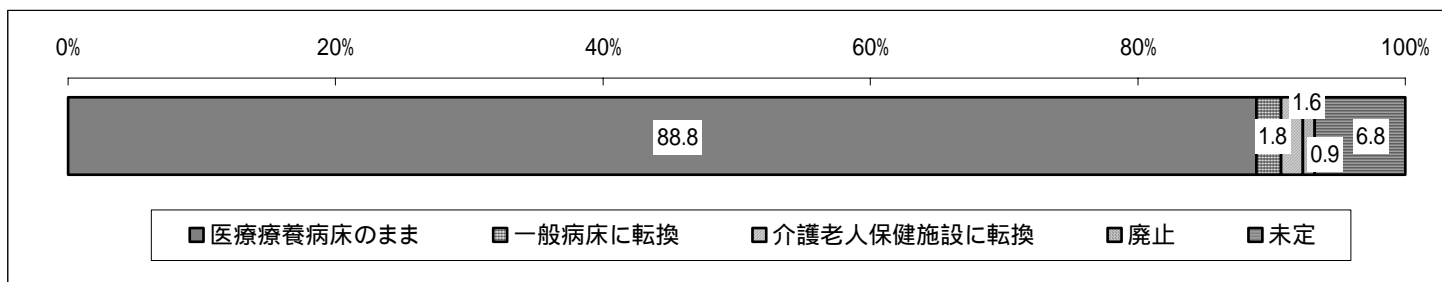
要介護状態等の区分の構成比をみると、要介護 5 が 61.9%で最も多く、次いで要介護 4 が 25.8%であった。
要介護 4 と要介護 5 を合わせると 87.7%を占めた。



	要支援 1 (経過措置)	要支援 2 (経過措置)	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	総 計
件 数	1	0	50	210	593	1,804	4,323	6,981
構成比	0.0%	0.0%	0.7%	3.0%	8.5%	25.8%	61.9%	100.0%

4. 医療療養病床の転換意向

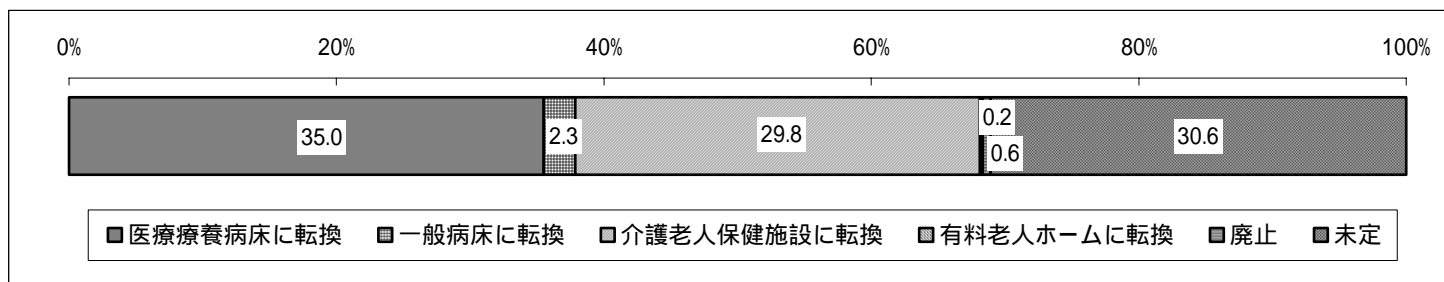
平成 24 年度には、現在の医療療養病床のうち、88.8%に当たる 9,812 床が医療療養病床にとどまり、1.8%に当たる 204 床が一般病床に、また 1.6%に当たる 182 床が介護老人保健施設への転換を予定している。ただし 6.8%に当たる 748 床については、転換意向が未定となっている。



	医療保険						介護保険							その他			合計			
	医療療養病床のまま			一般病床に転換			老人性認知症疾患治療病床に転換	介護療養病床に転換		老人性認知症疾患療養病床に転換	介護老人保健施設に転換	特別養護老人ホームに転換	有料老人ホームに転換	軽費老人ホーム(ケアハウス)に転換	グループホームに転換	高齢者専用賃貸住宅に転換		廃止	その他	未定
	介護保険移行準備病床	ヨソ病床	回復期リハビリテーション	障害者施設等	ヨソ病床	回復期リハビリテーション		経過型介護療養病床												
病床数	9,812	-	363	204	79	54	-	-	-	-	182	-	1	-	-	-	97	-	748	11,044
構成比	88.8%	-	3.3%	1.8%	0.7%	0.5%	-	-	-	-	1.6%	-	0.0%	-	-	-	0.9%	-	6.8%	100.0%

5. 介護療養病床の転換意向

平成 24 年度には、現在の介護療養病床のうち、35.0%に当たる 2,574 床が医療療養病床に、2.3%に当たる 171 床が一般病床に、また 29.8%に当たる 2,193 床が介護老人保健施設への転換を予定している。ただし 30.6%に当たる 2,251 床については、転換意向が未定となっている。



	医療保険							介護保険							その他			合計			
	医療療養病床に転換			一般病床に転換				老人性認知症疾患治療病床に転換	介護療養病床に転換		老人性認知症疾患療養病床に転換	介護老人保健施設に転換	特別養護老人ホームに転換	有料老人ホームに転換	軽費老人ホーム(ケアハウス)に転換	グループホームに転換	高齢者専用賃貸住宅に転換		廃止	その他	未定
	介護保険移行準備病床	ヨソ病床	回復期リハビリテーション	障害者施設等	ヨソ病床	回復期リハビリテーション	経過型介護療養病床														
病床数	2,574	-	244	171	12	39	102	-	-	-	2,193	-	14	-	-	-	45	-	2,251	7,350	
構成比	35.0%	-	3.3%	2.3%	0.2%	0.5%	1.4%	-	-	-	29.8%	-	0.2%	-	-	-	0.6%	-	30.6%	100.0%	

6. 転換意向が未定である理由

転換意向が未定と回答した理由をみると、「転換後の経営の見通しが不透明である」が 67.4%で最も多く、「転換に伴う施設の改修等に費用がかかる」が 8.7%であった。

